

■発行／南方熊楠顕彰会 〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913
http://www.minakata.org/ 〈E-mail〉 minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠…………… 25

柳田国男の『山の神とヲコゼ』という本の出版

文／大和 茂之（京都大学瀬戸臨海実験所助教）

筆者が参加している田辺・南方熊楠翻字の会では、南方熊楠（以下、熊楠）の自筆資料を活字化する作業を行っているが、その課題として読んだ1936年7月15日の日記に、以下の記述があった。

[受信]午後四時十五分着
東京渋谷区上通二丁目二三 寧楽書院
柳田国男氏の山の神とヲコゼ広告ハ一
八月末日迄前金又はハガキにて直接発行所迄申込に限り
送料共特価一円 送金は振替東京一八八四一番

このように書かれているが、この書籍は熊楠の蔵書には残っていない。その後、送金をしたという記録もないし、柳田から贈られたという記録もないようだ。おそらく、熊楠自身はその実物を見ていないと思われる。この日記の記述で興味を惹かれるのは、熊楠がわざわざ日記に記録として残していることと、この時期に柳田がこのような内容の本を出版したことである。

1911年に『東京人類学雑誌』に掲載された熊楠の「山神オコゼ魚を好むということ」という論文がきっかけになって、二人の文通が始まったことは、熊楠関係者には周知のことだろう。ところが、二人の濃密な文通は、途中からすれ違ふようになり、1916年12月23日の熊楠からの手紙で、ほぼ絶交状態となってしまふ。1926年に『南方随筆』が出版されたときに、中山太郎の跋文についての数通のやりとりがあったのが、わずかばかりの付け足りのようになっている。

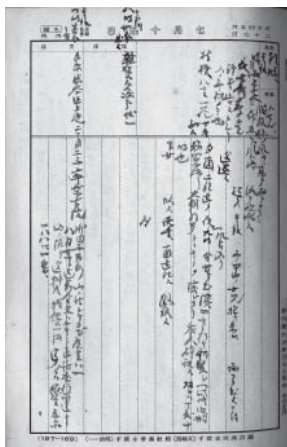
ところが、未公開の日記の翻字がなされている部分で、利用可能なファイルを検索してみると、断片的ではあるが、いくつかの柳田に関する記述が見られる。さらに、公刊されている熊楠の書簡類からも、柳田に関する話題を拾うこともできる。そこから見えてくることは、絶交後も柳田の動向に強い関心を持っていたことである。例えば、柳田の著作の何冊かを知人から送ってもらっている。また、柳田が書いた文章に対して、公表された以外にも、反論の文章を準備していたことをうかがわせる記述もある。

一方、柳田の方の行動も、やや不可解である。『山の神とヲコゼ』という本は、熊楠の論文に先行する1910年の『学生文芸』に書いた論文と、熊楠の論文を踏まえた1911年の論文を冒頭に掲げるとともに、その後『郷土研究』などで論じられた情報を、柳田がカードに書き抜きしていたものを、柳田の周りにいた鈴木棠三にまとめさせたものである。その中には、熊楠が提供した情報も含まれる。末尾にあるお伽草子「をこせ」の話は、霞亭文庫本と対校したとあるが、底本にしたのは、熊楠の論文に掲載された湯川富三郎所蔵の屏風から読み取られたものである。本の内容からして、熊楠に断りなしに出版して、献本もしていないというのなら、やや信義に悖ると言わざるを得ない。

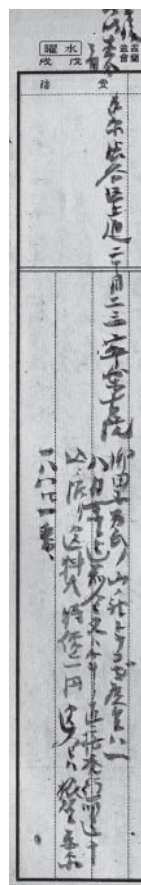
さらに、この1936年頃の柳田は、山人のことから離れて、常民や南の島のことに興味の対象が移っていた。一方熊楠は、1935年

の『ドルメン』掲載の「『西濃のヤマノコ』について」で、山神について改めて論じている。その文章は、柳田も読む機会があっただろう。なぜこの時期にあえてこのような内容の本をまとめたのか、真意を問いたくなってくる。

今回の日記の記述は些細なものではあるが、やりとりが途切れていた期間の二人の関係を示す象徴的な出来事のように思える。『南方熊楠大事典』の「柳田国男」の項目（石井正己執筆）では、このような「絶信」の時期を経て、戦後の「絶賛」へと、熊楠に対する柳田の態度は大きく変化したとある。熊楠の日記には、飛び離れた情報をつなぐミッシングリンクのようなものが埋もれている。



1936年7月15日日記（全体図）



1936年7月15日日記（部分図）

CONTENTS

第29回南方熊楠賞 授賞式	…2
南方熊楠賞受賞記念講演 馬渡 駿介	…3
第42回 熊楠をもっと知ろう！講演会	…12
杉山 和也・加藤 秀雄・折原 貴道・小峯 和明	
第43回 熊楠をもっと知ろう！講演会	…29
武内 善信・松居 竜五・藤澤 知未・田村 義也・新井 こそえ	
第44回 熊楠をもっと知ろう！講演会	…43
松居 竜五・川島 昭夫・大和 茂之・岸本 昌也	
新たな熊楠イベントの可能性	…57
杉山 和也・志村 真幸・一條 宣好・下平尾 直	
進講、一つの萃点 萩原 博光	…62
「熊楠」生物覚え書 29 土永 知子	…71
南方熊楠研究会 夏期例会報告 唐澤 太輔	…72
南方熊楠と同級生たち 郷間 秀夫	…76
書簡の杜（二十一） 岸本 昌也	…78
書評・書籍紹介 橋爪 博幸・巽 孝之	…80
新資料紹介 田村 義也・土永 知子	…84
【訃報】 飯倉照平先生	…87
第54回 月例展のご案内	…87